

のり面変状対策工（土のう設置工）

	内容	注意事項
作業計画	作業計画の確認	作業責任者・合図者・玉掛者・作業人員の確認 進入経路の確認
日々の安全対策	KY活動 車両使用前点検 現場流入 作業開始前点検	KY活動にて危険ポイントの確認 資格者証の確認 作業内容の確認 流入方法の確認 業務用プレートの確認 車両毎の車両使用前点検の実施 積み荷の状態確認 工事幕の確認 合流時の安全確認 流入時の合図確認 サイドブレーキ・輪止め・ハンドル切り確認 退避訓練の実施 現地KY活動の実施 使用機械・吊り金具ワイヤー等の点検 埋設管・構造物・架空線の確認
大型土のう 積み込み	耐候性大型土のうを濁川高架下にて13 t ラフテレーン クレーンを使用し10 t ダンプに積み込む	クレーン作業エリアの立入禁止養生 保護具の着用 周囲の確認・旋回時の安全確認 アウトリガー接地箇所の確認 クレーン設置の安定確認 現地構造物（架空線）確認 玉掛・合図を十分に打ち合わせる（合図者の選任） 玉掛ワイヤーの状態確認（重心等） 吊り荷の荷重確認 介錯ロープの確認 吊り荷の下は立入禁止
大型土のう 運搬	積み込んだ大型土のうを10 t ダンプにて現場まで運搬	積荷の重量確認（大型土のう5袋） 積荷の安定確認 積込場所の出入りは必ず一旦停止し安全確認 法定速度遵守 現場流入方法は決められた合図にて流入する 流入後の後退は必ず保安員の合図で後退する。 一般道は交通弱者優先で運行する
大型土のう 設置	運搬された大型土のうを16 t ラフテレーン クレーンを使用し10 t ダンプから降ろし設置する	クレーン作業エリアの立入禁止養生 保護具の着用 周囲の確認・旋回時の安全確認 アウトリガー接地箇所の確認 クレーン設置の安定確認 現地構造物（架空線）確認 玉掛・合図を十分に打ち合わせる（合図者の選任） 玉掛ワイヤーの状態確認（重心等） 吊り荷の荷重確認 介錯ロープの確認 吊り荷の下は立入禁止 本線に資材が落下しないように旋回位置確認 のり面の浮石・転石確認
片付け	作業完了 現場流出 作業後の打合せ	現場の忘れ物確認 資材の飛散防止確認 現場の清掃確認（タイヤ付着の土砂は無いか！） 積み荷の状態確認 流出時の合図確認 合流時の安全確認 明日の作業確認 業務用プレートの確認

注意事項	各種作業に適した保護具を使用する。 車両の誘導は確実に行う。 機械作業は有資格者が行う。 作業内容を変更する際は全員で再度KY活動を行う。 ハシゴを使用する際は確実に固定をおこなう事。 移動前に積載物の落下防止対策を実施し、複数人で確認する 車両を後退させる際は誘導員と打合せ実施後移動する。 運転手は運転前に車両の周辺に運転の妨げになる物等が無いか確認する
------	---